

進捗状況の概要

本補助事業における平成 27 年度の実績（取組み）は、大きく分けて I. COC+事業の体制整備, II. 大学教育改革として位置付ける教育プログラム開発の実施, III. 県内就職率の向上及び雇用創出に向けた各事業プロジェクトの推進を基に展開した。以下、それぞれの事業内容に分けて進捗状況の概要を示す。

I. COC+事業の体制整備

COC+事業を円滑に実施するために、(1)新潟地域創生協議会を設立・開催し、(2)教育プログラム開発委員会、(3)企画・調整部会、(4)事業プロジェクト推進部会、(5)事業評価検証部会の設立を承認した。併せて、推進コーディネーターを 2 名配置した。いずれの組織においても、平成 27 年度内で体制の整備は完了し、COC+事業を強力に推進するための検討を開始した。

II. 大学教育改革として位置付ける教育プログラム開発の実施

上記 I. (2)の教育プログラム開発委員会を開催し、「プログラム設計」の方針についてのコンセンサスを形成し、これに沿って「地域志向科目の必修化」、「地域人材認定制度の開発」について検討を進める環境を整備し、教育プログラムの開発・実施の検討を開始した。さらに、COC+事業の参加大学間における「単位互換・認定制度の運用」についての検討を開始した。

III. 県内就職率の向上及び雇用創出に向けた各事業プロジェクトの推進

上記 I. (1)の新潟地域創生協議会において、①インターンシップ改革、②地域活性化/産業振興、③教育の国際化、④国際交流の 4 つの関連事業を推進する母体となる 7 つのワーキンググループ (WG) を設立するとともに、I. (3)及び(4)の部会において、各 WG 活動の連絡調整や企画に関する検討・調整を行った。以下、各 WG における進捗状況の概要について示す。

- **インターンシップ改革 WG** インターンシップマッチングフェア及びインターンシップフォーラム開催のための準備の他、他地域でのインターンシップ調査、地元企業を知るための学生見学会の試行、次年度に向けた事業に対する準備・検討を行った。
- **食産業振興 WG** PBL 教育のための異分野融合型共同研究推進事業、アグロフードアソシエーツプログラムについての計画策定、食に関する先進地域を対象とした調査を行った。
- **専門人材認定制度 WG** 「コミュニティ・ビジネス」マイスターに関する啓発セミナーの試行並びに先進事例の調査及び意見交換を行った。
- **新潟のブランド化 WG** 情報メディアによる新潟の潜在的な魅力の発掘、国内外への情報発信に関する調査と発信力向上のための具体的教育プランの検討を行った。
- **社会人学び直し WG** 企業経営・産業振興につながる地域創生講座開催に向けた準備、超高齢社会への対策としての地域包括ケアを担う人材発掘・育成のための教育体制の整備、潜在看護師を中心とした医療関連人材の育成準備としての公開講座・研修会の実施を行った。
- **教育の国際化 WG** 大学間連携による（英語・中国語を媒介にしての）日本語プログラムの試行、留学生家族の年少者日本語学習支援の実態調査、e-ラーニングによる日本語学習支援の構築のための調査を行った。
- **国際交流 WG** 環境整備及び企画立案のための調査のほか、国際交流プログラム、留学生サマーセミナー及び国際ビジネスコンテストの計画策定を行った。

以上、平成 27 年度の事業内容は、県内就職率の向上や雇用創出を図るための事業計画を踏まえた体制整備や準備（調査・情報収集等）が主であり、次年度以降に地域創生に向けた事業を展開する。

(COC+大学名：新潟大学、事業名：「ひと・まち・しごと」創生を循環させる NIIGATA 人材の育成と定着)